

令和7年度 大河原教育事務所管内

地域連携担当研修会

兼「みやぎ教育応援団」マッチング会議

6月5日（木）、大河原合同庁舎を会場に地域連携担当研修会兼「みやぎ教育応援団」マッチング会議を開催しました。今年度の研修会は、前半に話題提供及び情報交換、後半に応援団支援体験及びみやぎ教育応援団との交流・マッチングの2部構成で行いました。

前半の話題提供では、角田高等学校 教頭 豊島 さと子 氏、角田市教育委員会生涯学習課 主査(社会教育主事) 佐藤 克宏 氏、株式会社Wasshoi Lab事業推進部 プロジェクトマネージャー 伊藤 淳 氏の3名の方を講師としてお迎えし、「小中学校での学びが高校での探究活動にどうつながるか」と題して、角田高等学校における「総合的な探究の時間」の取組をもとに、それぞれの立場から見える連携・協働に欠かせない視点について、具体的に分かりやすくお話しいただきました。また、情報交換においては、「これからの地域学校協働活動を充実させるために」と題して、グループワークを行いました。校種や立場、自治体が同じ方同士、異なる参加者同士とグループ編成を変えながら、各校で取り組まれている活動の紹介を通して、これからの地域学校協働活動を充実させるためにどのようなことが考えられるか、活発な意見交換が行われました。



○話題提供「小中学校での学びが高校での探究活動にどうつながるか」（参加者の声）

- ・他校種の実践から、小中高で系統性を持たせたり、内容の濃淡を考えたりすることが大切だということに改めて気付くことができました。また、行政や地域のバックアップの体制を構築し、情報共有するための手掛かりを得ました。
- ・探究に関する進め方を学ぶことができました。また、理論だけでなく実践事例をたくさん聞いたことも参考になりました。
- ・地元角田市近郊の高校、行政、企業での事例だったので、勤務校の地域連携の活動とも照らし合わせ、参考にできる活動をイメージして聞くことができました。
- ・高校での総合的な探究の時間がどのようにされているのか、また、それに関わる行政・地域の在り方など、とても深く学べる話題提供でした。
- ・行動力を養うための指導が行政と学校でしっかりと目的が共有された上で行われていると思いました。

○情報交換「これからの地域学校協働活動を充実させるために」（参加者の声）

- ・情報交換では、学校側で地域連携についてどう感じているか生の声が聞け、行政としての関わり方を改めて考えさせられる機会になり良かったです。
- ・同じ角田市内および管内の皆様との情報交換ができ、共通の話題でお話しできたことが特に良かったですと思います。それぞれの立場での強み、また、悩みも共有できたので大変貴重な機会になりました。
- ・今回で4回目の参加となりましたが、土地柄によるニーズの違いなどが感じられて勉強になりました。
- ・別の市町村での取組を知り、現在勤務している町や学校においても、実践できそうな話や有意義な情報交換を行うことができました。
- ・普段、資料でしか知ることのできない情報の他にも、実際にお話しして、小学校教育に役立つ授業提供や資料等をいただくことができました。

後半には、応援団支援体験として、川上産業株式会社 リサイクル事業部サステナブル推進2課 長澤 瞭 氏より、小学校4年生を対象にした環境教育を想定し、梱包に際に利用される通称「プチプチ」を活用しながらの出前授業をご提案いただきました。参加した皆様は実際にプチプチに触れ、環境教育について楽しみながら学ぶ姿が見られました。その後、みやぎ教育応援団の皆様との交流・マッチングが行われました。参加した皆様は、学校や地域の実態を踏まえつつ、応援団の力をお借りしてどのような教育活動が展開できるのかについての意見交換を行いながら、学びのネットワークをさらに広げていました。



○応援団支援体験「川上産業の環境教育」及び「みやぎ教育応援団」交流マッチング（参加者の声）

- ・子供が経験を通して学んできた「リサイクル」のイメージを更に広げることができる授業だと思いました。プチプチ2種類を体験できるのも魅力的だと思います。
- ・普段何気なく使っている資材に対して、子供たちも愛着をもつことや、どのような人や企業が関わっているかを知るためのとても良い活動だと感じました。
- ・出前授業をどのように行っているのかと考えながら聞きましたが、応援団の皆様も大変工夫されていると思いました。学校との連携により、実りある出前授業になっていくのだろうと感じました。
- ・地域にたくさんの応援してくださる方々がいらっしゃる事が分かり、今後、支援をいただくためのつながりを得られたのが良かったです。
- ・先生方同士で交流できる時間や企業の皆様にお声掛けできる機会は少ないのでとても有意義な時間となりました。